

● FCP平成27年度の取組に関する説明会

日時 第 1 回 平成 27 年 4 月 23 日 (木) 13:30～15:30
第 2 回 平成 27 年 4 月 24 日 (金) 15:30～17:30
会場 中央合同庁舎第 4 号館 (農林水産省)
1219～1221 会議室
参加者 120 社・団体 / 158 名 (登録者数 2 回合計)

議事次第

1. 開会挨拶
2. 平成 26 年度の取組の概要について
3. 平成 27 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について
 - (1) 全体運営
 - (2) FCP“つくる/みがく”活動 (研究会・勉強会活動)
 - ・消費者対応 勉強会
 - ・工場監査実証 研究会
 - ・国際標準 勉強会
 - ・植物工場 勉強会 (民間主体勉強会)
 - (3) FCP“ひろげる”活動 (普及戦略・普及活動全般)
 - ・地域ランチ
 - (4) FCP“つながる”会議 (交流・活動拡大)
4. その他
5. 意見交換

説明会概要

1. FCP の現状と今後の方向性について

FCP の基本的な考え方や食品企業を巡る状況、FCP 活動の再確認、FCP で開発した各種ツールの概要等について御説明しました。（詳細につきましては、資料 1、4 を御参照下さい。）

2. 平成 26 年度の FCP 活動振り返りについて

平成 26 年度の活動振り返りとして、各研究会・勉強会の内容を御紹介しました。（詳細につきましては、資料 2 を御参照下さい。）

3. 平成 27 年度の研究会・勉強会のテーマと進め方について

- (1) 平成 27 年度の研究会・勉強会のテーマについて平成 27 年度の研究会・勉強会のテーマについては、情報共有ネットワーク参加企業・団体の皆様からいただいた御意見・御要望を踏まえ以下のとおりとしたことを御説明しました。（活動内容及びスケジュール等の詳細につきましては、資料 3 を御参照下さい。）

① FCP“つくる/みがく”活動（研究会・勉強会活動全般）

- ・ 消費者対応勉強会（農林水産省主催）
- ・ 工場監査実証研究会（農林水産省主催）
- ・ 国際標準勉強会（農林水産省主催）
- ・ 植物工場勉強会（民間主催）

② FCP“ひろげる”活動（普及戦略・普及活動全般）

③ FCP“つながる”会議（交流・活動拡大）

(2) 参加申し込みについて

平成 27 年度研究会・勉強会の参加規約、参加申し込み方法及び参加申込書の提出期限等の概要について御説明しました。（詳細につきましては、資料 5 を御参照下さい。）

配布資料



平成27年度 F C P 活動説明会

フード・コミュニケーション・プロジェクト 現状と今後の方向性

平成27年4月23日(木)、24日(金)

農林水産省

食料産業局 企画課 食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）



- FCPは、消費者の「食」に対する信頼を高めることを目的として、農林水産省が提供するプラットフォームの下に食品関連事業者が主体的に食品の安全や信頼確保のための取組を進めるプロジェクト。2008年6月に立ち上げ。
- 食品業者が消費者の信頼を確保するために取り組むべき事項や関連する情報を共有することで、食品業界全体の底上げを目指している。そのために、評価軸の標準化や事業者の取組のレベルアップを図る教育ツールを作成するための研究会等を開催する等の活動を事業者の参加の下で展開している。

目 標

- 消費者の信頼向上
- 企業コンプライアンスの向上
- 食品安全の向上・食品事故の減少
- 取引の活発化

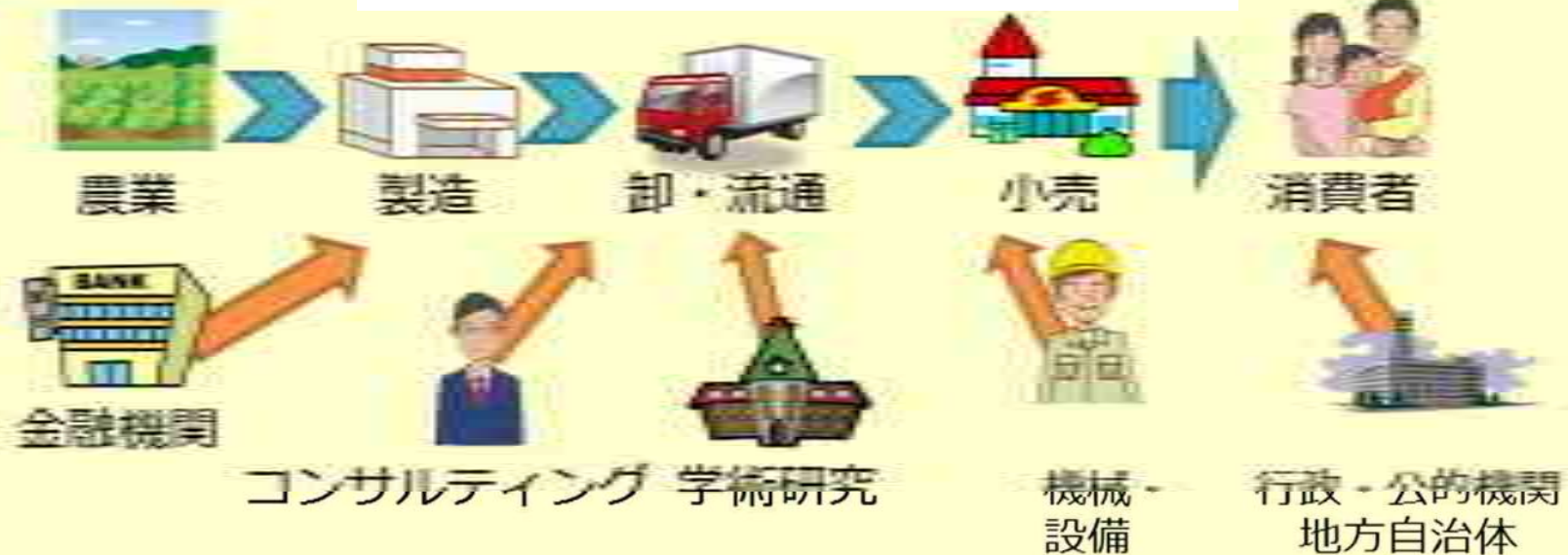
中小事業者の底上げ！

F C P 情報共有ネットワーク

FCP情報共有ネットワーク

農林水産省：プラットフォームの提供

食品関連事業者：1,735社/団体が参画
(平成27年3月末現在)



【活動内容】

- 情報共有（コミュニケーションの促進）
- 工場監査項目等の共有化（見える化）
- 参加企業のレベルアップ（人材育成）

FCPこれまでの歩み

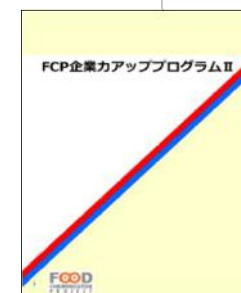
年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/ 団体数	地域ブラン チ開催県
20年度	企業行動の情報発信研究会	208	
	アセスメント研究会		
	地域活性化研究会		
21年度	企業行動の情報発信研究会	527	岩手県 三重県 愛媛県 和歌山県
	アセスメントの効率化研究会		
	地域活性化研究会		
22年度	FCP普及・戦略研究会	939	大分県
	アセスメント研究会		
	「消費者との対話のあり方」研究会		
	工場監査項目・共有化研究会		
	商品情報の効率的なやりとり研究会		
23年度	企業力向上の場としてのマッチング・商談会の活用に関する研究会	1,244	栃木県 島根県 滋賀県 山梨県
	FCP普及・戦略研究会		
	アセスメント研究会		
	「消費者との対話のあり方」研究会		
	工場監査項目の標準化・共有化研究会		

年度	勉強会・研究会・会議	参加企業/ 団体数	地域ブラン チ開催県
24年度	FCP普及・戦略研究会	1,452	埼玉県 岡山県 群馬県 福井県
	「食の信頼」標準化研究会		
	FCP企業力アップ研究会		
	消費者対話の活性化勉強会		
	品質監査に関する研究会		
	商品情報の効率的なやりとり研究会		
25年度	「FCP展示会・商談会シート」の普及に向けた勉強会	1,632	
	消費者普及システム研究会		
	品質監査に関する勉強会		
	輸出版FCP展示会・商談会シート研究会		
	農場と食品事業者をつなぐ研究会		
26年度	つながる会議 第1回食の信頼向上に女性の感性を活かす 第2回信頼のおける食品企業とは～仕事と自分の暮らし～	1,708	青森県
	企業力アップ研究会		
	国際標準に関する勉強会		
	つながる会議 第1回女性の視点を生かした食品の安全と消費者の信頼確保の取組、課題解決 第2回地方中小事業者の食品安全向上、国際的に見た食品安全の評価について 第3回未来の食品産業について考える		

アウトプット

企業・商品の「見える化」のツール

20年度	協働の着眼点(第1版) ベーシック16
21年度	FCP共通工場監査項目(第1版) FCPダイアログ・システム(第1版)
22年度	FCP展示会・商談会シート 展示会・商談会シート項目と着眼点との関連 「FCP展示会・商談会シート」の利用に関するQ&A FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法 第1版 FCPダイアログ・システム 作業シートフォーマット
23年度	FCP展示会・商談会シート 作成のてびき FCP展示会・商談会シート 作成のてびき 項目別補足シート 用途別・目的別 工場監査シート 自動作成ページ FCP共通工場監査項目ファースト ステップ ガイド FCP共通工場監査項目チェックリスト第1版 FCP商品情報の管理体制項目
24年度	FCP企業力アッププログラムI FCP共通工場監査項目 指摘事例集(事例で学ぶ工場監査)～監査担当者が注意を払う監査項目29項目と実際の監査シーンで見られる指摘事例集～
25年度	商談会シート(輸出日本語版、英語版、中国語版、韓国版) 輸出版商談会補足シート
26年度	FCP企業力アッププログラムII FCP企業力アッププログラムII 支援者活用ガイド FCP企業力アッププログラムII 付属テキスト(①やってみようB16、②FCP工場監査項目チェックリスト第2版) FCP共通工場監査項目に関する要求水準及び監査手法第2版 FCP共通工場監査項目監査手順書



食品企業を巡る状況

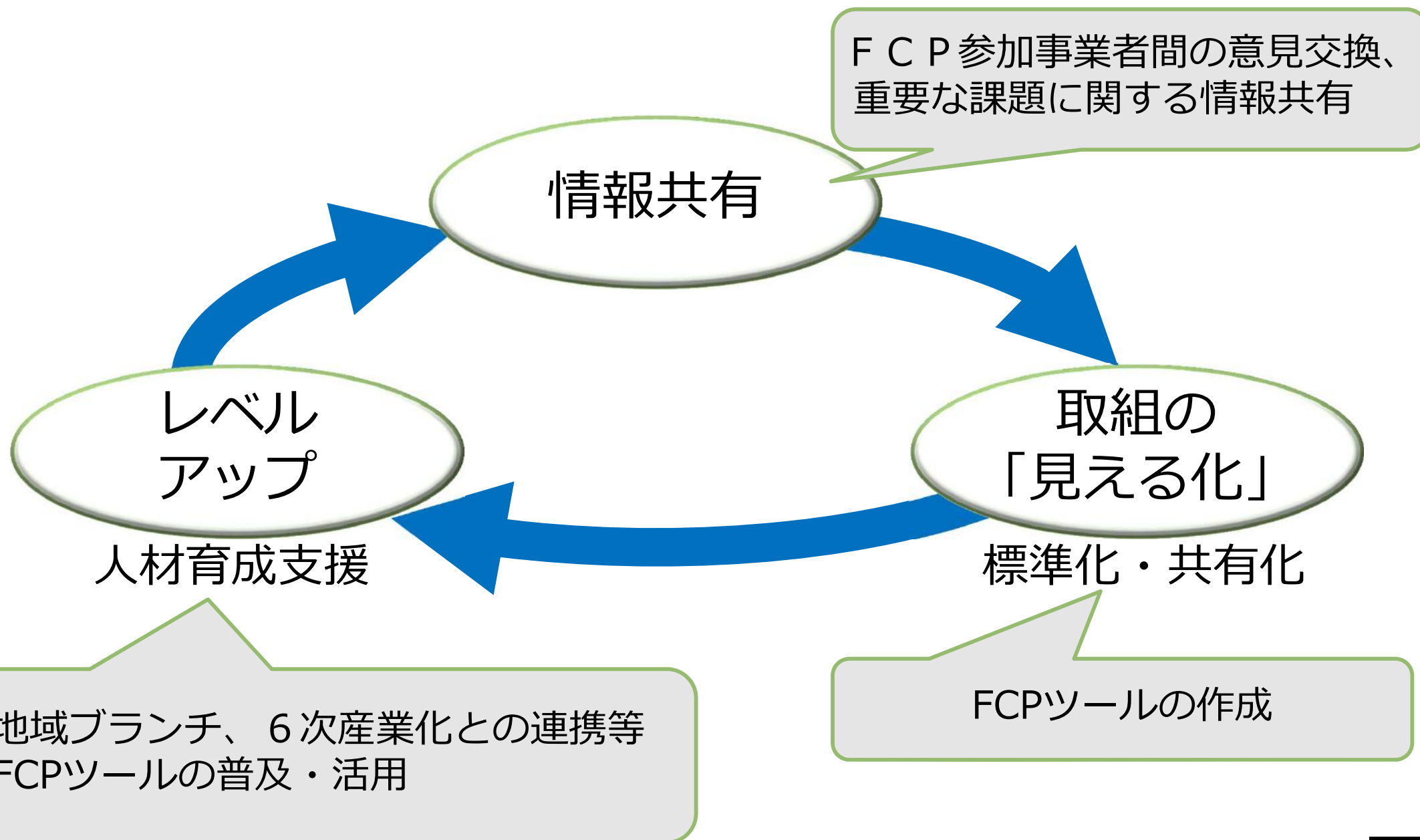
- 平成26年度は、食品事故や異物混入による食品の不安感が大きく広がった。特徴としては、異物混入等の問題が、新聞やテレビニュースといった一般メディアより早く、SNSやツイッター等の新しいソーシャルメディアによって消費者から消費者へと情報の伝達が広がった。

時期	概 要	関係法令
H26年 7月	中国食肉加工会社で期限切れ鶏肉を使用していることが明らかになり、ハンバーガーチェーンやコンビニエンスストアが販売中止	—
H26年 9月	「しらす」にフグの稚魚が混入し、回収	食品衛生法
H26年 12月	インスタント食品への虫混入が、SNSにより素早く広がり、社会問題化	—
H27年 1月	ハンバーガーチェーンにプラスチック片や歯が混入、社会問題化	—

食品表示や食品安全に係る制度も改正

時期	法律名	改正内容
H26年 3月	不当景品類及び 不当表示防止法 (景品表示法)	・ 事業者に表示是正などの措置を命じる権限を都道府県にも与えるとともに、消費者庁が他の省庁に不当表示の調査を委任できるようにする。 ・ 表示等の適正化のため、事業者に必要な体制の整備を義務づける。
H26年 10月	不当景品類及び 不当表示防止法 (課徴金制度導入)	・ 不当な表示による顧客の誘引を防止するため、不当な表示を行った事業者に対する課徴金制度を導入するとともに、被害回復を促進する観点から返金による課徴金額の減額等の措置を講ずる。
H27年 4月	食品表示法	・ 加工食品と生鮮食品の区分の統一、製造所固有記号のルール改善、アレルギー表示のルール改善、栄養成分表示の義務化、栄養強調表示のルール改善、栄養機能食品のルール変更、原材料名表示ルールの変更、販売の用に供する添加物の表示のルール改善、通知等に規定される表示ルールの一部を基準に規定、表示レイアウトの改善、経過措置期間のそれぞれ11項目が現行制度から変更され4月1日より施行された。

F C P 活動



今年度の活動の考え方

標準化



つくる／みがく
(研究会・勉強会活動)

人材育成

標準化

行動を広げる



ひろげる
(普及戦略・普及活動全般)

地域
ランチ

国際的な
発信

食品
事業者
普及促進

消費者
普及促進

活動の活性化



つながる
(交流・活動拡大)

FCP
つながる
会議

memo

平成27年度 F C P 活動説明会

フード・コミュニケーション・プロジェクト 平成26年度の取組の内容について

平成27年4月23日(木),24日(金)

食料産業局 企画課 食品企業行動室
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

農林水産省

平成26年度 F C P 活動図

F C P 活動

- ・ 地方自治体
- ・ 大学等学術機関
- ・ 他省庁
- ・ 関連団体

連携

F C P 情報共有ネットワーク参加企業・団体
農林水産省 F C P 事務局

つくる/みかく
(研究会・勉強会活動)

人材育成

企業力アップ
研究会

品質監査に
関する分科会

標準化

国際標準に
関する勉強会

- ・ 食品製造
- ・ 農業
- ・ 物流保管

ひろげる
(普及戦略・普及活動全般)

地域ブランチ

食品事業者
普及促進

- ・ 各種普及プロジェクト
- ・ 6次産業化との連携

消費者
普及促進

- ・ 各種イベントへの
出展
- ・ 消費者対話 実施

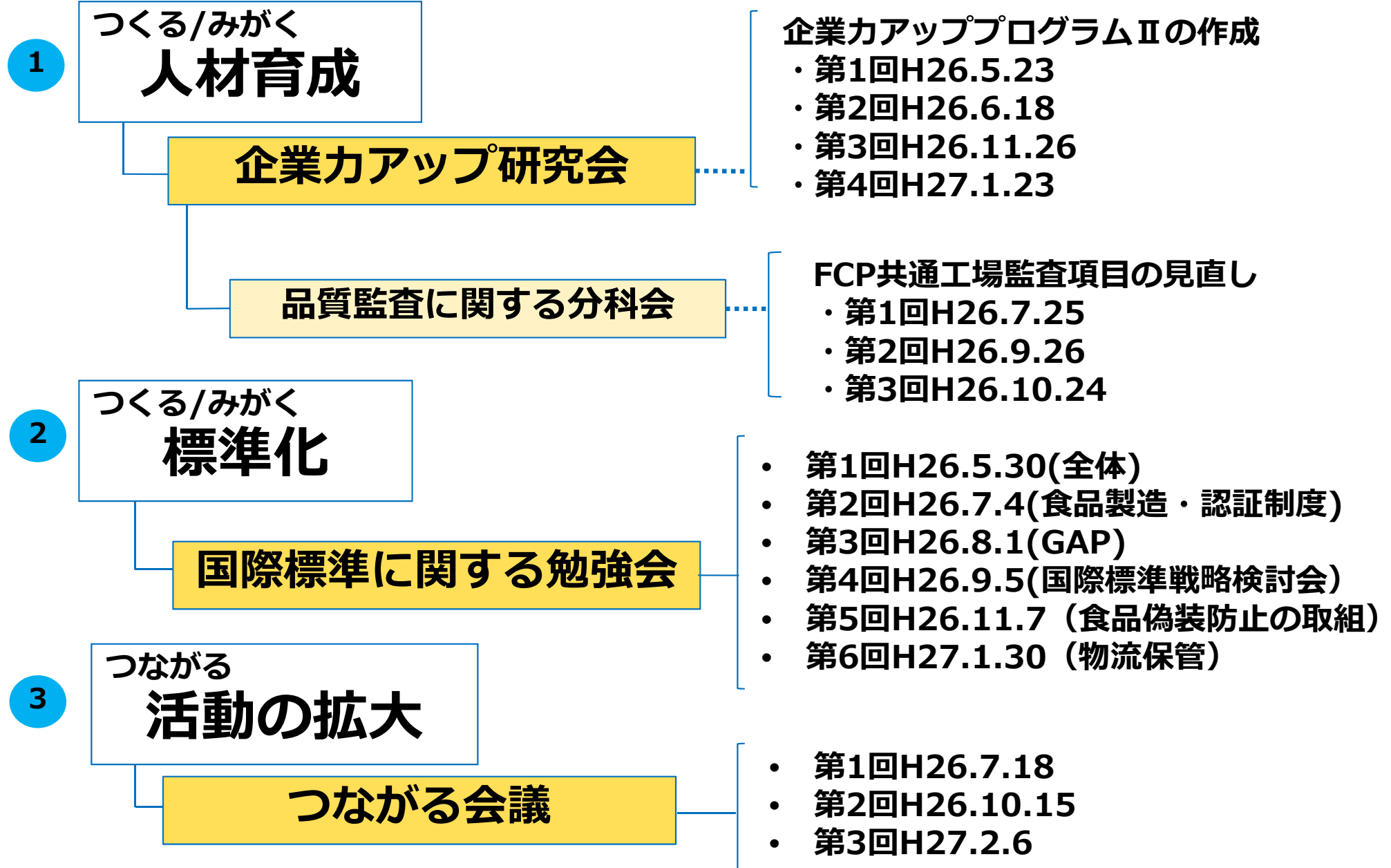
国際的な
発信・連携

つながる
(交流・活動拡大)

FCPつながる会議

毎回テーマを設定し、自由な意見交換を行う場

平成26年度 FCP研究会・勉強会活動



企業力アップ研究会，品質監査に関する分科会

● FCP企業力アッププログラムIIの作成

対象:	・消費者の信頼を確保するための取組内容を理解する食品事業者全般
目的:	・種々のFCPツールを事業活動の中でパッケージとして一括活用する

● FCP共通工場監査項目要求水準と監査手法第2版の作成、監査手順書作成

共通工場監査項目:	・国際的な枠組みを意識し、HACCPを導入、「担当者の力量」や「文書管理」についての項目を充実
監査手順書:	・セルフチェック、内部の監査、二者監査の場面での流れについて、項目を追いながら確認できるよう作成 ・ISO19011(品質及び/又は環境マネジメントシステム監査のための指針)を参考

「企業力アップ研究会」「品質監査に関する分科会」

ディスカッションおよびアンケートまとめ

- 気づきのツールとして、中小企業が活用できるツールであり、普及に向けて地域ブランチでの活用を期待しています。
- どのような場面で使用するかが想定できていないので、次回は広めるための実活動も必要ではないか。
- 作成過程でFCPの基本的考え方、歴史、背景を理解することができて非常に良かった。
- 私ども中小企業にとっては非常に役立つ知識があり大いに勉強となった。
- 監査を受ける中小企業が事前のセルフチェックとして使用には良いツールであり中小企業に普及させるべき。
- 共通工場監査項目のレベルが上がり、国際的に通用するものとなった。どうやって実践につなげるかが課題。
- FCP共通監査項目をベースに食品業界の監査を標準化していくことが望ましいと考える。

FCP国際標準に関する勉強会

取引先の食品安全管理の必要性が高まる中、取引における要求をどう考えるのか、
認証の現状をどう考えるのか、今後の戦略をどう考えるのか等について、情報共有

・意見交換

ディスカッションおよびアンケートまとめ

- いくつか異なる種類の国際認証に取り組まれている企業さんからの報告が比較研究という意味でもとても勉強になった
- 標準の統一した認証スキーム及びガイドラインが必要
- フードチェーン全体の食品安全への取組において、日本の強みが世界において客観的な評価を得にくい状況
- 各分野の食品安全において、経営者の理解と従業員への教育が重要
- 各分野の様々な事業者が食品安全を段階的に取組める仕組みが必要
- 食品安全の取組について、各省庁のさらなる連携を望む声あり
- 短い時間でのグループ討議はなかなかかみ合わず、深めるのは難しいところがあった

F C Pつながる会議

F C Pに新しく加入された方々、新しく参加される方々向けに、情報共有・意見交換し「顔の見える」交流・つながりを深め、お互い気付きを得、ひいては社内での活動をしやすくするための場

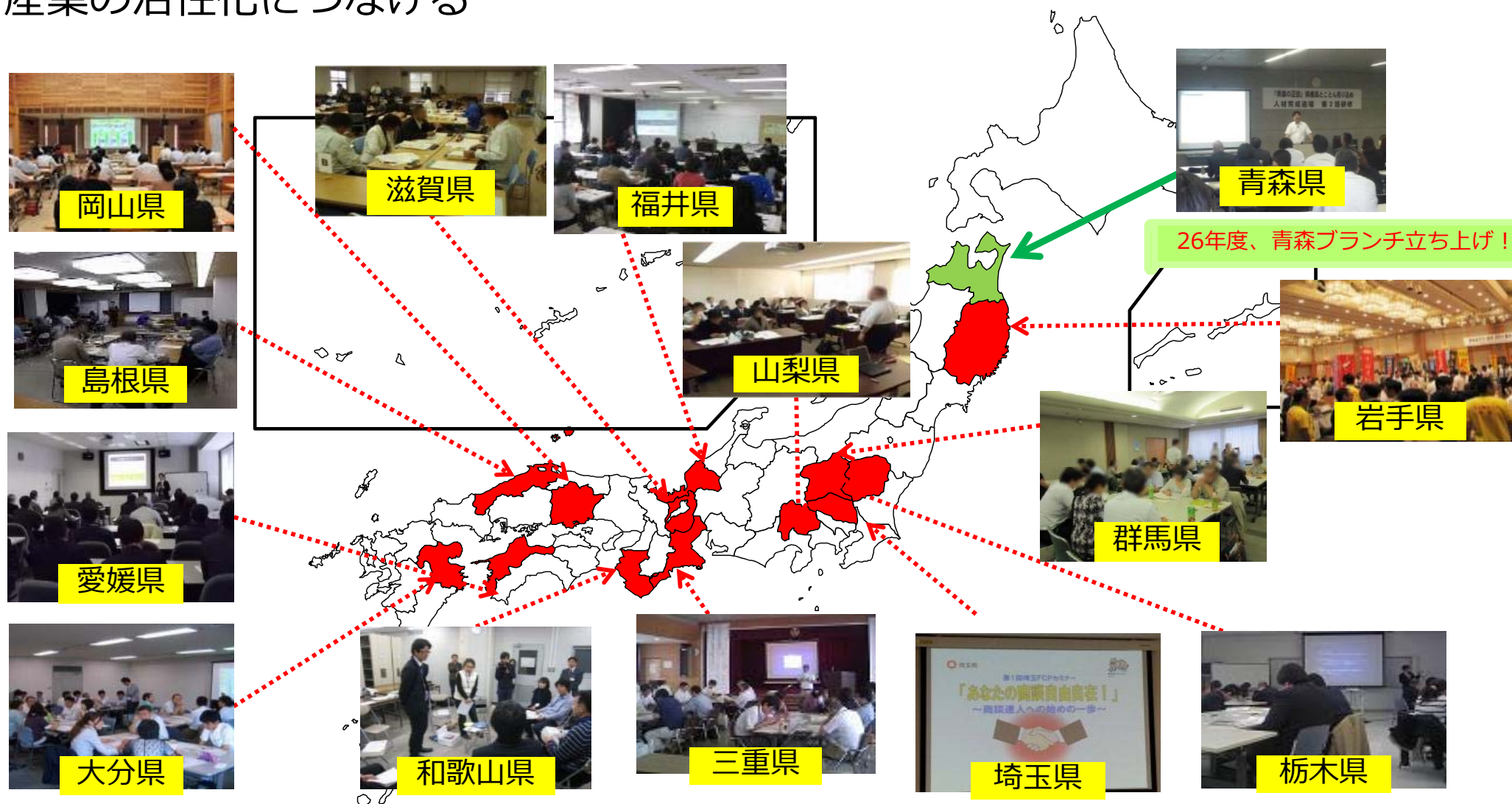
第1回テーマ：「女性の視点を活かした日本の信頼向上の取組、課題解決」 7月18日（金）開催 参集範囲 女性限定
第2回テーマ：「地方中小食品事業者の食品安全向上、国際的に見た食品安全評価」 10月15日（水）開催 参集範囲 地方自治体
第3回テーマ：「未来の食品産業について考える」 2月6日（金）開催 参集範囲 学生・食品企業入社5年まで

ディスカッションおよびアンケートまとめ

- 他企業の方との交流は非常に有益であり、とくに他企業との交流経験のない若手や女性にとってはすばらしい機会だと思う。
- 自分では当たり前と思っていたことが違う立場からはそうではないということに気が付かされることも多いので、良い機会でした。
- 女性のつながる会議は参加していて勉強になるので、是非続けて欲しい。

F C P 地域ランチ（14ランチ）

地域独自の課題についてFCPの考え方やツールを活用して取り組み、地場の食品産業の活性化につなげる



平成26年度都道府県意見交換会でのポイント

- 生産者の個々のレベル、理解度の差がある
- 言われてやる感じが強い。自らやるという感じが無い
- シートを作り終わればそれで終わる。次へのステップアップが遅いことが課題、それぞれ次年度に向け反省点として改善していく
- 参加者からはバイヤーを招いた会の時に現場のリアルな声が聞けて良かった
- 研修で学んだことを生かして、アグリフードEXPOに参加
- デザイナーマッチング会を開催。各デザイナーによるパッケージデザインについてのPRや、デザイン毎のブースに分かれてのデザイン相談等が、実施できた

消費者への普及促進 「子ども霞ヶ関見学デー」

日時 平成26年8月6日(水)・7日(木)

場所 展示・実演 農林水産省研修室(本館7階)

概要 FCP参加企業によるブース展示と、実演を実施。19社の企業・団体に参加いただいた。2日間合計で629名の子ども達と保護者の方々に参加いただいた(農林水産省には2日間で4,771名が来場)



【実演：わかめの秘密を探ろう】



【企業展示】



【キャラクター集合】



【クイズラリー】

イオンアグリ創造株式会社
株式会社イクスピアリ
株式会社ウエハラ
花王株式会社
キューピー株式会社

昭和産業株式会社
東海漬物株式会社
有限会社十勝スロウフード
日清医療食品株式会社
株式会社日清製粉グループ本社

日本製粉株式会社
日本海洋資源開発株式会社
日本水産株式会社
日本ハム・ソーセージ工業協同組合
ネスレ日本株式会社

株式会社不二家
株式会社マスヤ
理研ビタミン株式会社
菱熱工業株式会社

地域でのF C P普及促進

- 「F C P 『ひろげる』活動」の食品事業者への普及促進の一環として、F C P地域ランチとは別に、県、市町村や銀行等が開催する商談セミナー等においてF C Pの講演を実施。
(全国14箇所)



	開催日	開催地
1	H26.5.28	東京都
2	H26.6.10	山梨県
3	H26.9.12	秋田県
4	H26.11.4	中国四国農政局
5	H26.11.20	神奈川県相模原市
6	H26.12.1	東京都
7	H26.12.5	京都府
8	H26.12.18	岩手県
9	H27.1.7	山形県
10	H27.1.8	東京都大田区
11	H27.1.13	鹿児島県鹿屋市
12	H27.2.9	北海道八雲町
13	H27.2.16	東京都
14	H27.3.4	鳥取県

国際的な情報発信

GFSI（Global Food Safety Initiative）の会議において、F C P の取組を紹介

- 平成26年10月30日（木）「Food Safety Day Japan 2014」（品川）

- ・ 発表内容

- 〈官民協働がもたらす食品安全〉

「食品の国際標準戦略の展開方向」をテーマにFCPにおける日本の食品製造・流通の標準会の取組を紹介



- 平成27年3月3日（水）～3月5日（金）「GFSI 世界食品安全会議」（マレーシア クアラルンプール）

- ・ 発表内容

- 〈公共セクターとの協力 食品安全に向けて共有する責任〉

地域の文化・環境に適合した取組を標準化していくための手法として、FCPの取組を紹介



参考資料

- ・ 平成27年2月25日 農林水産省にて都道府県意見交換会を開催
- ・ その際の各ブランチ担当者からの意見概要

青森	・6次産業化に取組み販路拡大を目指す生産者が増え、売込みスキルを学ぶ目的で立ち上げ ・青森の生産物を売込む人材の育成をメインとして活動 ・他県での売込み研修を開催。商談会シートを記入しバイヤーとの実戦式の商談会を実施
栃木	・フードバレー栃木の推進。食をテーマに地域経済の成長・発展、販路拡大が目標 ・F C Pを食品事業者、農業者に取り入れ、自己の見直しを実施し経営力の向上を狙う ・F C Pの取組では、6次化をすすめている事業者に「F C P展示会・商談会シート」の活用をすすめており、県独自での展示会・商談会実施 ・徐々に参加者の固定化が目立っているのが課題、F C P活動を普及させる為にもセミナーの開催などを活発にしていく予定
群馬	・「企業力」「商品力」「コミュニケーション力」のレベルアップを目標に活動 ・去年の研修会の少なさの反省を生かし、今年度は3回実施 ・参加者からはバイヤーを招いた会の時に現場のリアルな声が聞けて良かった。衛生管理の会の時には、ないがしろにしている工場が多かったので見直すとの声あり
埼玉	・食品事業者、農産物も野菜を中心に多く、加工品も直売所から卸、百貨店での販売も増えたが品質管理が遅延 ・改善策とF C Pの普及と併せて研修会を開催し商談会シートの作成、活用を進展 ・研修での結果を出す為、模擬商談会の開催を多くしていく予定

三重	・推進事業の展開として県内食品関係事業者を対象に、商品力・営業力を高めている ・商品力・営業力アップセミナーを開催 ・「F C P 展示会・商談会シート」を活用した、個別相談を中心とした集中研修を開催 ・銀行との連携で研修会を開催。模擬商談会にて商品の売り込み方、攻め方について学ぶ
滋賀	・近江ブランドを県外、海外へも輸出するために販路拡大の取り組みに力を入れている ・F C P の取り組みは販路開拓に意欲的な生産者を中心に展開 ・研究会を実施し、商談会シートの書き方、活用の仕方を説明し、今後の活用を推進 ・模擬商談会などの研修会も開催 ・研修で学んだ事を生かして、アグリフード E X P O に参加
和歌山	・県内生産・製造業者の「企業力アップ」と「売れる商品づくり」のためにブランチ参加 ・会社の「営業」・「製造」・「商品開発」それぞれの部門が持つ情報を相互活用。「情報の見える化」がビジネスチャンスを広げる ・コース別に分かれた研修を実施 商談会成約アップコース・・・営業力アップ 戦略的品質管理コース・・・製造力アップ ・デザイナーマッチング会（オープン講座）を開催。各デザイナーによるパッケージデザインについてのP R や、デザイン毎のブースに分かれてのデザイン相談を実施 ・セミナーの内容は、F C P の理念・ツールをベースにプログラムを作成

岡山	・平成26年度より6次産業化サポートセンターを県が立ち上げ、機能をここに移行し活動 ・平成26年度の取組 1. 支援機関向けのセミナー 2. F C P 訴求ポイントデモ（6次化ビジネス塾、地域化フェア） 3. シート活用（展示商談会、交流会） ・平成25年度の座学中心から活用へステップアップ
愛媛	・地元商品の県内外への販売の為、販路拡大を計画。よりよい商談方法知る為に参加 ・研修会を開き、F C P 商談会シートの作成、活用法を学ぶ ・バイヤーを呼んで疑似商談会の開催、商品の展示の仕方の説明会を実施
大分	・大分ブランド確立のために「4つの基本施策」を平成26年度も継続 ・「知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業・元気で魅力ある農村の実現」を目標 ・F C P 活用で、自社製品のアピールポイントや品質管理体制について客観的に捉え、販路拡大や衛生管理のステップアップにつなげられる内容で研修会を実施